

陳情第169号	受理年月日	令和2年3月16日
付託委員会	環境水道委員会	
件名	世界的な気候危機の進行対策としての北九州市議会における気候非常事態宣言や決議の実行について	
要旨	<p>人類による温暖化ガスの排出によって進行する気候変動は、もはや気候危機とも呼ぶべき段階に至っている。</p> <p>今冬は世界的に、人類史上最も暖かい冬だった。日本でも全国でかつてなかったほどの雪不足や高温が記録された。また今年の夏から秋にかけて、台風や大雨による甚大な被害が出るのが既に危惧されている。</p> <p>私たちの社会が温暖化ガスの排出を減らせないままならば、気候の極端化による災害だけでなく、食糧生産への影響なども予想され、私たち自身の未来が失われてしまうのだということを共通認識とし、生活や産業のあり方を速やかに改めて行くことが、求められていると思う。</p> <p>我が国は2015年のCOP21で採択されたパリ協定に参加しているが、政府の目標設定は、産業革命前からの世界の平均気温上昇を2度未満に抑えるという協定の目的に資するとは言えず不十分だという指摘を、国際的にも多方面から受けているのが現状である。</p> <p>それでも、昨年9月の壱岐市を皮切りに、気候非常事態宣言や決議が全国各地の自治体で行われるようになった。先月には神奈川県が初めて県としての非常事態宣言を行った。フランス、イギリスなども既に国家としての宣言を行っており、世界的には1,000を超える自治体が同様の宣言を行い、対策に取り組んでいる。我が国の国会でも、超党派の議員による国会決議採択に向けた動きが生まれているとのことである。</p> <p>北九州市議会としても、公害を乗り越えて来た努力と経験と精神を生かし、若い世代に切迫する危機をはね返す先進的な意志を示すべく、非常事態宣言や決議を行われるよう、心より求める。</p>	